

研究機関：広島大学

| | |
|-------------|--|
| 研究課題名 | 術後悪心嘔吐に対するオンダンセトロンの効果 |
| 研究責任者名 | 広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学 教授 堤 保夫 |
| 研究期間 | 2022年9月(倫理委員会承認後)～2026年3月31日 |
| 対象者 | 2019年4月から2023年3月の間に、広島大学病院で腹部手術を受け、術後に外科系集中治療室(SICU)に入室した患者さん。 |
| 意義・目的 | 術後の吐き気は一般的な外科手術の約30%の患者さんが体験するといわれています。この吐き気に対し、様々な制吐剤を使用して抑えようとしています。近年、オンダンセトロンという制吐剤が保険適応となりました。オンダンセトロンの効果に関しては、手術中に投与することで術後の吐き気を抑制するといわれています。今回の研究の目的は、手術当日並びに手術翌日にもオンダンセトロンを投与した手術翌日の吐き気の発生頻度を調査し、また、オンダンセトロンが保険適用される前に腹部手術を受け、オンダンセトロン以外の制吐剤(主にメトクロプラミド)を使用した症例と比較検討することによって、オンダンセトロンの効果を検証することです。 |
| 方法 | 本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、BMI、年齢、性別、ASA、麻酔記録、周術期使用薬剤、SICU滞在時の診療録・経時記録、吐き気の発生状況、制吐薬の使用状況、その他の使用薬剤、その他の合併症です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません) |
| 共同研究機関 | なし |
| 試料・情報の管理責任者 | 広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫 |
| 個人情報保護について | 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。 |
| 問合せ・苦情等の窓口 | 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5267 広島大学病院 麻酔科 助教 加藤貴大 |